

2022 年度

事業報告書

特定非営利活動法人 アクション

1 事業の成果

本年はフィリピン政府による新型コロナウイルスの感染拡大防止に関する規制が大幅に緩和されたためすべての事業で対面での活動を再開した。2022年8月には2年半ぶりに公立学校における対面授業が全面的に再開され、それに伴い低体重の生徒を対象とした給食支援も再開した。JICA 草の根技術協力事業では、社会福祉開発省とともに児童福祉施設職員であるハウスペアレントへの能力強化研修の全国展開および青少年更生施設の子どものためのライフスキル向上プログラムを推進した。また、現在のフィリピン社会の大きな問題となっている若年出産や子どもの人身売買などの課題にもアプローチをし、解決に向けて取り組んだ。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【24,507】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
国際協力事業	発展途上の児童福祉施設支援 ・子ども達への学用品支援 ・子ども達への食事支援 ・心理ケア事業	通年	フィリピン サンバレス州 ジャイラホーム	2人	児童福祉施設の子ども	20人	86
国際協力事業	発展途上のストリートチルドレン及び貧困家庭の子ども支援 ・子ども達への奨学金および学用品の支援 ・子ども達への食事支援	通年	フィリピン オロンガポ市	3人	ストリートチルドレンと貧困地域の子ども	60人	202
国際協力事業	発展途上の子ども達に対する情操教育及び職業訓練事業	通年	フィリピン サンバレス州	4人	児童福祉施設と貧困地域の子ども	300人	4021
国際協力事業	発展途上の子ども達に対する給食支援事業	通年	フィリピン サンバレス州	2人	貧困地域の子ども	120人	1950
国際協力事業	国際理解教育事業 ・武蔵野市主催土曜学校「世界を知る会」の運営 ・日本国内の小学校～大学への講師派遣	通年	フィリピン サンバレス州 日本 武蔵野市他	3人	フィリピンと日本の子ども	40人	8
国際協力事業	国際協力機構 草の根技術協力事業費 ・児童福祉施設職員の能力向上 ・青少年更生施設の子どものためのライフスキル伸ばし自立を促進	通年	フィリピン 全国11地域	10人	児童養護施設の職員	750人	8196
国際協力事業	若年層の妊婦に対する出産及び栄養支援事業	通年	フィリピン オロンガポ市	3人	対象地域の若年層妊婦	50人	592

国際協力事業	未成年の人身売買防止事業	通年	フィリピン サンバレス州	3人	活動地域の 公共交通機 関のドライ バー、ホテ ルやレスト ランの従業 員、学校の 先生	200人	5315
国際協力事業	若年層への性教育啓発事業	通年	フィリピン中部 ルソン地域（サ ンバレス州・バ タアン州・パン パンガ州）及び マニラ首都圏	2人	児童福祉施 設の子ども /対象地域 の保護者及 び青少年	500人	3777
国際協力事業	女性の所得向上事業	通年	フィリピン オロンガポ市 サンバレス州 バタアン州 マニラ首都圏	2人	活動地域の 女性達	10人	125
国際ボランティア体験事業	各事業地へのボランティア派遣	随時	フィリピン オロンガポ市 サンバレス州 マニラ首都圏	5人	日本市民	40人	47
子ども達の生活環境向上に必要な調査研究及び情報収集及び提供	地域及び児童養護施設の子ども達に対する学習支援	通年	日本 武蔵野市 立川市	2人	地域と施設 の子ども	20人	188

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)